

# 会 議 録

会議名	第3回光が丘地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)			
開催日時	令和5年9月6日(水) 19時30分～21時00分			
開催場所	光が丘公民館 大会議室			
出席者	委員	20人(別紙のとおり)		
	その他	6人(アセットマネジメント推進課長ほか2人、こども・若者政策課長ほか2人)		
	事務局等	4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員1人)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 議 題           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 光が丘地区の課題への取組について</li> <li>(2) 地域活性化事業交付金について</li> </ol> </li> <li>4 その他           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 光が丘地区公共施設再編に向けた取組について</li> <li>(2) おかえりな祭いずみ祭について</li> <li>(3) 買い物お太助カーについて</li> <li>(4) 次回まちづくり会議について</li> </ol> </li> <li>5 閉 会</li> </ol>			

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(○は委員の発言、●は事務局の発言、■は担当課の発言)

### 1 開 会

割柏会長が開会

### 2 あいさつ

割柏会長あいさつ

説明の都合上、順番を入れ替え、4 その他（1）から議事が進行された。

### 4 その他

#### (1) 光が丘地区公共施設再編に向けた取組について

青葉小学校跡施設の利活用に向けた取組経過について、こども・若者政策課及びアセットマネジメント推進課より説明が行われた。

#### <説明要旨>

令和7年3月に青葉小学校が閉校することから、老朽化した療育センター陽光園と陽光台保育園の2施設を青葉小学校の跡施設に移転することが決定している。

令和3年度から市民対話ワークショップ等を開催しながら、令和4年8月には基本構想を定め、陽光園と陽光台保育園の移設に加えて、防災機能と市民活動機能を持つこととなった。

令和4年度に実施した市民検討会では、子どもが遊びやすいように校庭を芝生にしてもらいたい、体育館に空調設備を設置してもらいたい、楽器を演奏できる完全防音室や子育て広場として利用できるような保育室が欲しい等、様々な意見が取りまとめられた。

現在、これまでの市民検討会でいただいた意見等をもとにして、基本計画の策定に向けた検討を進めている。今後、専門的な見地からの検討や子どもや地域の皆様と対話をする場を設けながら、令和6年3月までに策定をしたいと考えている。新しい施設は令和8～9年に工事をを行い、令和10年頃の利用開始を予定している。

#### <主な意見・質問等>

○市民活動機能エリアの維持管理費用は、市に負担してもらえるのか。

⇒■市が負担する。

○現在、学校開放で青葉小学校を利用している団体は、引き続き利用することができるのか。

⇒■団体への開放については今後検討させていただく。

○子ども中心の施設として計画されていると捉えて良いか。

⇒■そのとおりである。子ども中心の施設という考え方で進めている。

⇒○市民活動機能とあるが、説明からは子どもだけの施設のように聞こえる。

⇒■世代間交流が大切と考えており、子どもだけでなく、地域の活動団体の利用も想定し、検討を進めていく。

⇒■日中の時間帯は子ども達も利用しないと考えられるため、地域の方もご利用しやすくなると思う。

⇒○高齢者による合唱の活動等で、ぜひ防音室を利用させていただきたい。

○公園のように子どもたちや高齢者が自由に校庭などに入出入りをして良いのか。

⇒■管理方法については、今後検討させていただく。

⇒○自由に利用できる地域に開かれた場所にしていただきたい。

■小学校の改修はまだ時間がかかるため、施設のルールや利用方法はこれから決めていく。「子ども中心の施設」というコンセプトは大切にしたいと考えているが、子どもだけの施設とも考えていない。これまでのような市民検討会という形をとるかはわからないが、今後も皆様からご意見をいただく機会を設け、ルールを作る必要があると思っている。

○和泉短期大学では、子育ての場と学生の学びの場として「子育てひろば」を運営している。学生から学びや気付きを得ることも多く、みずみずしい感性を持つ学生たちも青葉小学校の跡施設に何らかの形で関わりを持たせていただきたい。学生の若い力と地域が繋がることで、お互いに活性化していくのではないかと考えている。

⇒■若い方のご意見を聞きたいと思う。ご協力いただきたい。

○すぐ隣に光が丘公民館があるので、図書館を統合するなど、一緒に検討してもらいたい。

⇒■公民館とも調整をしながら進めていきたいと考えている。

⇒○現在、県営上溝団地建替事業が行われており、団地の中に近隣住民も利用できるコミュニティルームができる予定である。それぞれの施設ごとに利

用を検討するのではなく、複合的に考えてもらいたい。

⇒■いただいたご意見を参考にさせていただく。

○今後、実際に施設を運営していく中で必ず課題事項が発生する。利用に関するルールの見直しを行うための検討組織を立ち上げ、フォローするような仕組みを作っていただきたい。

### 3 議題

#### (1) 光が丘地区の課題への取組について

各部会の取組状況について、報告があった。

##### 【まちづくり部会】

市がキャンプ淵野辺留保地に関して、国と交渉をし、覆土の話を進めていただいている。前回のまちづくり会議以降の取組状況の説明を事務局とアセットマネジメント推進課より説明いただきたい。

##### <説明要旨>

● 令和5年7月18日に庁内関係課による打ち合わせを行い、覆土に関する予算措置や進め方、留保地内において国の許可を得ずに設置されている倉庫の取り扱いについて検討を行った。倉庫については、今すぐ撤去してもらいたいということではない。国の担当者が定期的に留保地を確認に来ており、覆土の許可を求める一方で、許可の得られていない倉庫があると国からの信頼を得ることが難しくなってしまうことから、話し合いを行ったものである。

8月9日には再度打ち合わせを行い、覆土に関して整理が必要な事項として、具体的な場所や規模、施工方法等を検討した。9月中を目途にアセットマネジメント推進課と公園課が国へ相談に行く予定となっている。

■ 国に対してはコンクリートがむき出しになっている部分があり、安全を確保するために覆土をさせてもらいたいと相談したところ前向きな返事をいただいている。実施するならば市として行ってもらいたいとも言われていることから、業者に見積を取っている。

国の担当者は年に1回は必ず現地を確認しており、留保地の様々なところに物が置いてあることで、担当者から話に聞いていないと指摘されてしまうことを懸念している。覆土の話の整理がついた後に、パークゴルフ協会の皆様と相談をさせていただきながら、倉庫の件についても進めさせていただきたいと考えている。

相手があることなので、確実に良い返事を持って帰って来られるかわからないが、まずは覆土について相談し、確約をもらってくるつもりでいる。

<主な意見・質問等>

○倉庫はどのようなものが設置されているのか。

⇒■大きくはないが、イナバの物置のような倉庫が設置されている。

○今後、国と交渉する場面が出てくるかと思うが、行政同士だと押しが利かない部分もあると考える。ぜひ国民である我々の気持ちを代弁し、交渉していただきたい。我々や市議会議員の声が交渉に必要であればぜひお声がけいただきたい。

⇒■大変心強いお言葉に感謝する。交渉の中で難しい場面があったときにはお力添えいただけるとありがたい。

○覆土の費用は市が負担するという認識で良いか。

⇒■そのつもりで検討している。安全のための覆土であるため、市が負担すべきものかと考えている。

#### 【子育て環境・健全育成部会】

こどもまちづくり会議から提案された地域も大人も巻き込んだあいさつ運動の取組については、光が丘地区青少年健全育成協議会やこども応援団等と協力しながら、実践していきたいと考えている。

和泉短期大学の井狩先生から、キャンプ淵野辺留保地で開催されている冒険遊び場について、ご相談があった。現在、冒険遊び場はNPO法人KIDS、和泉短期大学の井狩先生と学生によって支援・運営されているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、協力いただいていた大人の方が減ってしまい、協力いただける人材を探していただけないと依頼があった。

地域の中で竹とんぼが作れる方や草笛を教えることが出来る方などがいればご協力いただきたく、子どもだけでなく、大人の居場所にもなればよいと考えている。

<主な意見・質問等>

○パークゴルフを利用されている方にも協力いただけると良いと思うが、定期的に開催されているのか。

⇒○水、土、日曜日に開催されている。主催者からもパークゴルフを利用されている世代の方が協力していただけると大変ありがたいと話をしていた。

## (2) 地域活性化事業交付金について

継続事業である「光が丘子どもを守る会」について、交付金の申請がされたが、申請団体の代表者が欠席となった為、事務局より説明を行った。

### <説明要旨>

光が丘地区内で子どもの飛び出しが多発している状況があったため、令和3年度に子どもの交通事故を防止するため、遊び場（公園他）に飛び出しを注意する看板を作成・設置した。今回は2年目の継続事業として、地区内における危険個所の情報をさらに集め、看板を追加設置することと、令和3年度に設置した看板の確認・修理を行うものである。また、チラシ等による周知も行い、交通事故防止を呼びかける予定である。

### <結果>

飛び出しを注意する看板を作成・設置し、子どもへの注意喚起を行うことで事故防止に繋げることができるものと考えられるため、積極的採用としたい。

## 4 その他

### (2) おかえりな祭いずみ祭について

4年ぶりに和泉短期大学の文化祭を開催することとなった。ぜひ地域の皆様にもお知らせいただき、ご来校いただけると大変ありがたい。

災害と福祉保育というテーマで、東日本大震災の被災地を訪問し、被災地において保育がどのようになされてきた等、学びの振り返りも発表させていただく。

### (3) 買い物お太助カーについて

買い物お太助カーに関する（福）県央福祉会の支援が令和5年9月末で終了した。今後は（福）相模福祉村に運行車両等の支援をしていただけることとなった。

### (4) 次回まちづくり会議について

例年、この時期はまちづくりを考える懇談会に向けた話し合いをまちづくり会議として行ってきた。今年度は懇談会を中止したため、次回予定している議題が無い為、10月5日のまちづくり会議は中止にしようと考えているが、皆さんの意見を伺いたい。

### <結果>

異議なし。10月5日まちづくり会議については開催中止となった。

5 閉 会  
割柏会長が閉会

以 上

## 光が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団体等	団体での役職等	氏名	出欠
1	光が丘地区自治会連合会	会長	割 柏 秀 規	出席
2	光が丘地区自治会連合会	副会長	阿 部 俊 夫	出席
3	光が丘地区自治会連合会	副会長	鈴 木 勝 雄	出席
4	光が丘地区自治会連合会	副会長	南 雄 二	出席
5	光が丘地区自治会連合会	副会長	熊 谷 由 加	出席
6	光が丘地区社会福祉協議会	会長	飯 沼 守	出席
7	光が丘地区社会福祉協議会	会計	小 山 千 秋	出席
8	光が丘地区民生委員児童委員協議会	会長	石 井 和 子	出席
9	光が丘地区民生委員児童委員協議会	副会長	岸 豊 治	出席
10	光が丘公民館	館長	加賀谷 育 子	出席
11	光が丘公民館	青少年部長	佐 伯 行 弘	欠席
12	陽光台公民館	館長	前 田 進	出席
13	陽光台公民館	体育部長	佐 藤 直 樹	欠席
14	光が丘地区子ども会育成連絡協議会	会長	羽 鳥 亜樹子	出席
15	老人クラブ連合会 (光が丘地区・陽光台地区)	光が丘地区	佐 藤 健 司	出席
16	光が丘地区交通安全母の会	会長	田 中 友 紀	欠席
17	交通安全協会 (青葉支部・陽光台支部・光が丘支部)	光が丘支部 支部長	服 部 幸 一	欠席
18	小学校PTA	光が丘小学校PTA会長	甲 田 秀 昭	欠席
19	中学校PTA	緑が丘中学校PTA会計	小 林 直 子	欠席
20	小・中学校長	陽光台小学校校長	渡 邊 直 展	欠席
21	和泉短期大学	専任講師	吉 田 久仁子	出席
22	青少年健全育成協議会 (光が丘公民館区・陽光台地区)	光が丘公民館区	岡 見 益 義	出席
23	防災専門員・防犯指導員	防犯指導員	村 松 映 介	出席
24	避難所運営協議会	光が丘小学校 避難所運営協議会会長	青 木 進 一	欠席
25	光が丘地域包括支援センター	係長	大 谷 尚 功	出席
26	一般社団法人光が丘ふれあいセンター	代表理事	平 林 清	出席
27	有識者		石 井 トシ子	出席
28	有識者		西 本 敬	出席